

2017年度 ミクロ経済学中級Ib 第2回演習解答

Takako Fujiwara-Greve

1. 学校側が5回オファーしてやっと終わり、 $x(c_1) = \{s_3, s_4\}$, $x(c_2) = \{s_2\}$, $x(c_3) = \{s_1\}$ 。
2. ステップ1で終了して、 $y(c_1) = \{s_2, s_4\}$, $x(c_2) = \{s_1\}$, $x(c_3) = \{s_3\}$ 。
3. c_1 は responsive preferences によって $\{s_2, s_4\} \succ_{c_1} \{s_3, s_4\}$ である。他は当初の順序より $s_1 \succ_{c_2} s_2$, $s_3 \succ_{c_3} s_1$ である。

ゆえに $y(c_i) \succ_i x(c_i)$ for all $i = 1, 2, 3$ である。

1-to-1 matching の場合、プロポーズする側は嘘をつくインセンティブはないのであるが、many-to-one matching の場合先手側も嘘をつく可能性があるということで、one-to-one matching とパラレルではないということである。